



## アレブリヘ

100年以上前、メキシコシティに、ペドロ・リナレスという芸術家が居ました。ある日彼は重い病気にかかり、深く深く眠っていました。すると、彼は夢の中で、森の中にある不思議で奇妙な、魔法の国へ迷い込みました。木や動物や、岩や雲が見たこともないような動物に変化しました。彼は、蝶の羽を持ったロバに、牛の角を頭に乘せたニワトリに、タカの頭をしたライオンに、様々な動物を見ましたが、全員が全員、大声を上げて叫んでいます。

「アレブリヘ！アレブリヘ！」

すると彼は突然目が覚めて、動物たちが夢の中に現れて、自分を病気から守って助けてくれたんだと感じました。そして、回復するとすぐに、その動物たちの作品を作り始めました。

メキシコでは、いろんな世代のたくさんの芸術家が、神聖な木と呼ばれているコーパルからアレブリヘを作っています。アレブリヘはメキシコの人たちにとって神聖な存在です。どのアレブリヘも愛と、作品への情熱と、長い時間を掛けて辛抱強く丹精込めて作られています。1つの1つのアレブリヘにはそれぞれに固有の力やメッセージが込められています。

